

中学生への出前授業

実施報告書

足利市議会

2023年2月

1 実施概要

(1) 目的

中学3年生が、公民の授業で地方自治について学習するこの機会に、市議会議員が外部講師として議会の仕組みや議員の役割を説明する出前授業を実施することで、子供達の地方議会に対する興味・関心をさらに深めることを目的として実施するもの。

(2) 実施日程・実施校（全24クラス）

令和4年10月の中学校校長会において市内全11校に依頼をしたところ、6校の24クラスから受入れがあった。

- ・ 12月 2日（金） 愛宕台中学校 2クラス
- ・ 坂西中学校 4クラス
- ・ 15日（木） 協和中学校 5クラス
- ・ 16日（金） 北中学校 4クラス
- ・ 20日（火） 山辺中学校 3クラス
- ・ 21日（水） 山辺中学校 2クラス
- ・ 毛野中学校 4クラス

(3) 実施内容

各クラスにおいて、市議会議員が2名一組で講師となり、DVD動画の視聴による市議会のしくみの説明と質疑応答を実施した。

2 実施結果

(1) 実施日及び参加者数等

校名	実施日時	参加人数 (クラス数)	担当議員 (〇数字は担当クラス)	傍聴 議員	取材	備考
愛宕台	12月2日(金) 【3時間目】 10:45～11:30	40名 (2)	①中島、中山 ②金子、栗原	・大谷 ・須田 ・小林	—	
坂西	12月2日(金) 【6時間目】 14:55～15:40	124名 (4)	①鳥井、西田 ②末吉、尾関 ③金子、栗原 ④小林、斎藤	・中島 ・横山	—	
協和	12月15日(木) 【6時間目】 14:30～15:15	130名 (5)	①藤本、平塚 ②黒川、中山 ③須田、渡辺 ④大谷、横山 ⑤吉田、富永	・中島 ・金子	—	

校名	実施日時	参加人数 (クラス数)	担当議員 (0数字は担当クラス)	傍聴 議員	取材	備考
北	12月16日(金) 【5時間目】 13:45~14:30	104名 (4)	①中島、鶴貝 ②末吉、尾関 ③杉田、荻原 ④吉田、富永	—	—	
山辺	12月20日(火) 【1時間目】 9:00~9:45 【2時間目】 9:55~10:40 【3時間目】 10:50~11:35	89名 (3)	③藤本、平塚 ⑤大須賀、柳 ④小林、斎藤	・中島	—	
	12月21日(水) 【1時間目】 9:00~9:45 【2時間目】 9:55~10:40	63名 (2)	①須田、渡辺 ②杉田、横山	—	—	
毛野	12月21日(水) 【5時間目】 13:35~14:20	128名 (4)	①鳥井、西田 ②鶴貝、黒川 ③大谷、柳 ④横山、大須賀	・中島 ・小林	・読売新聞 ・NHK	
	5日間	678名 (24)	延48名 (1クラス2名体制)	延10名	2社	

(2) 授業における生徒からの質問 (抜粋)

①足利市政等について

- ・足利市のよいところはなんですか。
- ・これからの私たちにできることは何か。今私たちがすべきことは何か。
- ・地方交付税の使い道がわかった。
- ・友達との関係が悪くなった場合に、元に戻すにはどのようにしたら。親の離婚を復縁させるにはどうしたらよいか。(回答するのに少し躊躇したが何とか答えたつもりです)。
- ・西の地域にはこれといった商業施設がなく、活気がない。(大きな商業施設を望む声だと受け止めたが、地域によって中学生の足利市に望むことが変わってくるのだと気づかされた。)

②市議会・市議会議員について

- ・市議会議員は普段どのようなことをしているのか？

- ・市議会議員になるには、どのような勉強が必要ですか？
- ・議員を目指したきっかけは？（という問いに自身の経験談を述べさせてもらったが、初心忘れずの精神を思い起こした。）
- ・議員になぜなったか？（初心に戻れた。）
- ・議員になって一番印象に残った場面はどんな時か。人口を増やすには何が必要か。総理大臣や国会議員をどう思うか。このまちをよくするために自分たちは何をすべきか。
- ・議会中居眠りをしている議員についてどう考えるか。議員になる為にはどのようにすればよいのか。
- ・議員の給料はいくらぐらいか？議員になるきっかけは？議員になって良かったこと、悪かったことは？
- ・好きなYouTubeチャンネルは何ですか（回答出来て良かったと思っている）。
- ・好きな色は何ですか？（普通に応えるだけではなく、選挙時のテーマカラーを絡めてペアの議員さんが回答していて、話の膨らませ方の勉強になった。）

（3）授業における生徒からの要望等

①意見・要望等

- ・学校給食の配膳と配送業務のお手伝いをしてくれる方の雇用形態はどうなっているのか。（北）
- ・足利独自の遊園地をつくってほしい。観光客が増えるのではないか。（協和）
- ・トイレが和式で古くて臭いが臭いので、芳香剤を置いてほしい。教室のヒーターを直してほしい。利保町交差点の信号が見にくいので改善してほしい。（北）
- ・暖房機器が故障しているので修理してほしい。（北）
- ・毛野公民館前の信号機の赤青の時間配分について、片方がなかなか青にならない。（毛野）

（4）授業後の生徒のアンケート結果（全678人の抜粋）

①市議会議員に対して

- ・一人の市民と変わらず、身近な人だった。
- ・市民の要望が実現したときにやりがいを感じたと聞いて、楽しそうだなと思った。
- ・とても親しく接して下さってイメージが変わった。議員になったきっかけを知って、改めて議員の行動力や人を思う力は凄いと思った。
- ・普段から市民のために何をすればよいかを考えて行動したり、発言したりしてくれていることが分かった。
- ・意外と普通の大人だった。

- ・実際に議員さんの話を聞いて、議員さんの気持ちや仕事について知ることができた。
- ・人との関わりで町がよくなっていくのがいいなと思った。とても人柄がよかった。
- ・たくさんのことを考えているからこそ難しいこともあると思い、自分たちの希望することを本当に聞いてくれるのか不安でしたが、少ない質問の一つ一つに丁寧に答えてくれた。
- ・市議会議員は意外と身近な存在で、自分も関わることのできるものだと知った。
- ・本会議は1年に4回しかないのは、思ったよりも少なく驚いた。
- ・市議会議員は市民全員のことを考えて、足利市をよいまちにするために活動していることが分かった。
- ・質問に対して毎回真剣に答えてくれた。フレンドリーに答えてくれて楽しかった。
- ・別の仕事を経て、それぞれの思いをもって仕事をしていることが分かった。
- ・足利のことを大切に思ってくれていて、代表にふさわしい人たちだと感じた。
- ・たくさんの方の工夫や、足利市への強い思いが伝わってきた。
- ・まちのため、未来のため、自分たちのために色々な理由で行動していてカッコよかった。
- ・市民が暮らしやすく、安心して暮らせるように動いてくださっているという印象を強く持っていたが、実際に質問してみて、様々な活動をして下さっていることを学んだ。
- ・自分たちと変わらず、普通の人だし、普通の生活をしていた。
- ・遠い存在だと思っていたが、授業を通じてそんなことはないなと思った。
- ・議員に対してあまり良い印象を持っていなかったのに、とても楽しく政治のことについて詳しく教えていただいた。これからも政治関係のことを楽しみながら学んでいきたい。
- ・別の仕事などもしているのだと意外に思った。
- ・受ける前と違い、とても優しく親しみやすい方々だと思った。18歳になることがより一層楽しみになった。
- ・足利をよくしたいという意思を持った人たちでよかった。
- ・暇である時間も、自主的に仕事をしようとするのがすごいなと思った。日常から議員としてふるまう姿が尊敬できる。
- ・市民への思いやりがある優しい方たちで、市の代表であることが納得できた。
- ・人脈の大切さを知ることができ、自分の関わりを広げようと思った。お金を多く持っていると思ったが生活に苦労していることを知って驚いた。
- ・努力家で、市民のために頑張ってくれていることが理解できた。
- ・市民の声に耳を傾け、足利市を豊かにするためにたくさんの方の政策を考えてくれていることを聞いてとてもありがたいと思った。大人になっても足利市に住んでい

たいと考えているのでこれからもよろしくお願ひしたい。これからも体に気を付けて頑張ってください。

- ・自分たちが見ていないだけで、すごく色んなことをしているのだと知り、尊敬の念が沸いた。
- ・しっかりしているけれど、意外な一面もあって楽しく授業を受けることができた。
- ・議員は市のためにたくさん頑張ってくれているのを知り、感謝すべき人たちだと思った。改善点もたくさんあるかもしれないけれど、私たちが安全に暮らしていけるのは議員のお陰だと思った。これからも頑張ってもらいたい。
- ・足利をもっとよくしたい、という思いをもって活動していることを感じると同時に、他の市町村に負けたくない、という闘争心のようなものを感じた。
- ・市民の意見をまとめ、みんなの意見がとおるように話し合いをしてくれていてすごいと思った。地元をよくしたいという一心で頑張ってくれていたのだから感謝しようと思った。
- ・とても話が上手で短く感じた 45 分間だった。
- ・議員から、あきらめずに進んでいく姿を聞いて、自分も将来に向けて頑張りたいと思った。
- ・授業を受けて、実際の優しさを感じるとともに、一般の人の意見をしっかりと取り入れて足利をよりよいまちにしていく気持ちが強く伝わりました。
- ・生徒と同じ目線で話していて、足利をどう変えたいのかを具体的に話してくれた。どうして議員になったのかという質問に対する答えから、足利市を愛していることがよく伝わってきた。
- ・議員になる前にどんな仕事をしていたか等、めったに聞くことが出来ない話を聞けたので勉強になったしとても楽しかった。
- ・自分が思っていた以上に私たちの身近な生活に関わっていることが分かった。よいまちをつくらうとしている気持ちが伝わってきて、市議会議員という仕事が働き甲斐のある立派な職業だと感じた。
- ・悪い人たちだけではないと思った。自分たちの判断で何万人もの生活を変えることになるから責任重大で、とても勇気が必要な仕事だと思った。
- ・忙しい中で、私たちのために様々な意見を出し合い、よりよい暮らしを作ってくれる大切な存在だと分かった。いつも頑張ってくれている議員に感謝しながら生活していこうと思った。
- ・やりがいや目標があり、足利をよりよくしたいという気持ちが感じられた。足利の人たちのために沢山勉強をして、よく考えているんだなと思った。
- ・市議会議員に興味があった。

- ・足利の問題点や逆に良いところ、議員になった理由など、多くの質問に対して、丁寧に話していて、とても品の良い人だからこそ、周りからの信頼も高いのだろうと感じた。
- ・話しやすく、接しやすいと思った。人一倍足利のことを考えてくださっていて、本当にいい人たちなんだと思った。また、勉強のことや、子供のころの話を聞いて、そこまで自分とかけ離れている存在ではないと実感することができ、勇気になった。
- ・「分からないをなくす」「あきらめない」という言葉が印象的でした。今後期待されている私たちが必要なことだと思いました。18歳になったら、しっかり選挙に行って議員の皆さんが足利をもっとよくしてくれるように協力したい。
- ・実現できることは実現してもらい、実現が難しいことは時間をかけて対処してくれていることが分かった。足利のことをちゃんと考えてくれていると知って、ほっとした。
- ・厳格なイメージがあったが、意外にどんな意見もウェルカムな感じで、親しみやすくなった。
- ・質問を通して議会、議員さんについてよく知ることができ、副業もできると知った時はちょっとやってみたいと思ったり、知らないうちに興味を持っていた。
- ・足利の人口減少や少子高齢化への対策をととてもよく考えてくれていて、全ての人に対してとても優しく丁寧に接してくれるのだと市議会や議員に対する考え方が変わり、自分もこの市により協力していきたいなという気持ちになった。
- ・私たちの意見をしっかり聞いてくれて、印象が変わった。今すぐではなくても、私たちの出した要望が実現するといいなと思った。傍聴に行ってみたいと思った。
- ・議員は、私たち市民のために一生懸命、プレッシャーが大きいけれど頑張ってくれていることがよく分かった。そして、私たちがしっかり政治に関わるためには、18歳になったら選挙の投票をしていくことが、まずできることだと学ぶことができた。
- ・会議に参加するだけでなく、市民の声を聞いて、僕たちが安心安全に暮らせるように責任をもって工夫しながら会議や取り組みをしてくれていることに感動した。

②授業全般について

- ・議員さんの話や質疑応答を通して、議会の仕組みや活動内容を詳しく知ることができた。これからも議会について学び、関心を深めていきたい。
- ・今回の授業で、議員の人となりについて少し知ることができて、政治というものを身近に感じた。
- ・とても楽しく、ためになる時間だった。前向きに頑張ろうと思った。

- ・説明がわかりやすく、議会について興味を持つことが出来た。
- ・話を聞いているうちに傍聴したいなと思った。でも平日の昼間はさすがに行けないので、スマホで傍聴しようと思った。
- ・自分が知らなかったことたくさん知ることができた。もっと足利市を好きになろうと思う。
- ・学ぶことが多くうれしかった。人として成長できるように頑張ろうと思った。
- ・この機会で市議会についてたくさん知ることができ、直接話を聞いてさらにわかりやすくそのことについて知ることができた。これからは市議会についてもっと深掘りしていき、もっと知識を増やしていけたらよいと思った。
- ・授業を受けて、足利をよりよいまちにできるよう、自分にできることをがんばりたい。
- ・後輩に今後も続けてほしい。
- ・現在の足利について知ったり、未来の足利について考えることができた。
- ・税金の使われ方がわかってよかった。
- ・自分たちがしてほしいことがあっても、なぜできないのかがわかった。
- ・一つの事を決めるのに、色々なことを考えなければいけないことが分かった。
- ・一つの事を決めるためには、色々な条件や周りへの対策も考えないといけないことが分かった。
- ・お店をつくるにしても売り上げや土地の広さ等、考えることがたくさんあると知った。

③若者の政治参加について

- ・議員の仕事は知らないことがほとんどだったけれど、この出前授業でざっくりとどんな仕事なのか理解できて、自分も何か地域で変えたいところがあったら、なってみたいと思った。
- ・「あしかがみ」もこれから読んでいこうと思った。
- ・3年後、投票できるようになったら、自分が思っていることを考えながら、代表の人を選んで未来のために貢献していきたい。
- ・投票できる年齢になったら、自分が思う意見に近い方を選び、よりよい市へとしていきたいと思った。
- ・若い人が選挙に行かないと、政策が高齢者よりになってしまうことが分かった。古い建物を立て直す時には、今後の人口の変化まで考えなければいけないのだと思った。
- ・家で議会の様子を見てみようと思った。
- ・もっと自分の住んでいる市に興味を持とうと思った。
- ・自分たちも大人になったら、足利に貢献したいと思った。

- ・自分たちの知らないところでとても活躍してくれていた事を知ることができてよかった。積極的に政治に参加しようと思った。
- ・今の私たちに必要なことは、意思表示をすること。そして少ない予算で大きな結果を出し、みんなが住んでみたいと思えるようなまちづくりをすることだと思った。
- ・足利をよりよくしていくために、自分にできることを選挙などを通して考えていきたいなと思った。
- ・仕事内容や工夫していること、私たちがやるべきことを知ることが出来た。18歳になったら選挙に行って、自分の意見などをつたえられるようにしたい。
- ・もっと自分が足利を誇りに思えるようなまちにするために、声をあげたり、18歳になったら必ず投票に行きたい。兄の話では、あまり投票するのに決めてがないと感じていたりすることが多いそうなので、もっと身近なものにするためにも、議員の意見をわかりやすく各家庭に配付したり、お店などに貼ったりすると目に入りやすくなるのかと思う。市民の声を書ける箱などを置いてもいいかもしれない。
- ・授業を受ける前は、議員が本会議以外でどんなことをしているのか知らなかった。暇なときはあるのだろうなと思っていた。議員が周りを歩き見て問題を改善しようとしていることを知って、自分の意見や1票も自分の生活をよく変えることができると感じた。これからは自分から生活をよくするために選挙権や直接請求権を使いたいと思った。
- ・足利市をよりよい場所にするために働いている市議会議員の話聞いて、自分も何かできることはないか考えてみようと思った。
- ・未来をよりよくするために、政治にもっと関心を持ちたいと思った。
- ・自分の将来や足利のためにも政治に関心を持つことが大切だとわかった。
- ・18歳から選挙権があるから、忙しいからって投票しないというのは違うから、日本を任せられる人に投票したいなと思った。
- ・足利のことをよく考えてくれているのが、話を通して伝わってきた。まちはみんなで作るものなので、議員さんに任せきりじゃなく、一人一人が意識して行動できるといいのかなと思った。
- ・若者の投票率が下がっていると学んだため、18歳になったら選挙に行き投票したいと思った
- ・私もよりよいまちづくりのために、自分が今できることを精一杯がんばります。

④アンケートに記載された意見・要望等

【学校の環境整備に関すること】

- ・特別教室のエアコンは後輩のためにも是非検討してほしい。

- ・学校に家庭菜園が欲しい。プールは屋内温水プールにしてほしい。校庭に遊具を置いて、人工芝にしてほしい。シャワールームが欲しい。卓球部の部室が欲しい。
- ・給食にアイスを付けてほしい。
- ・ドレッシングをボトルに入れて共用でかけられるようにしてほしい。
- ・学校のトイレをきれいにしてほしい。
- ・学校の蛇口からお湯がでるようにしてほしい。

【公共施設の環境整備に関すること】

- ・図書館のトイレが暗くて怖い。
- ・公園の遊具が古いから危ないので、新しいものにしてほしい。
- ・公園にサッカーゴールを付けてほしい。

【交通対策に関すること】

- ・あずまアングラーの信号は赤が長い。
- ・歩道が狭く、自転車が通りにくい道がある（アオキとコスモスがある通り）。
- ・街灯が少なく暗いから、街灯の灯りを明るくしてほしい。
- ・北保育所と北郷小の間の道は、道幅を広くしてほしい。街灯を付けてほしい。
- ・自転車用の道を広くしてほしい。
- ・名草は街灯が少ないので街灯を増やしてほしい。
- ・北郷小の西側の道路の入口は、南進する車が一時停止せずに飛び出てきて危ないので、信号かカーブミラーを付けてほしい。

【市内のにぎわい創出に関すること】

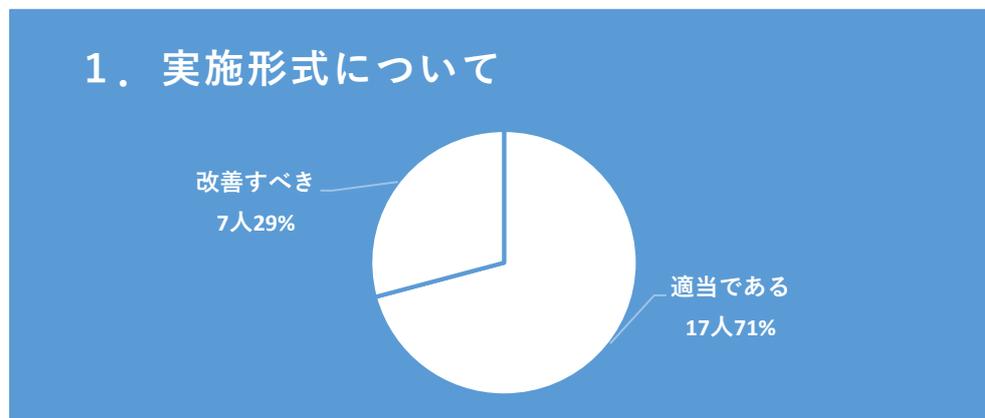
- ・遊園地の検討をよろしく。
- ・遊びに行ける場所がアシコタウンとかアピタぐらいしかないから、もっと遊んだりショッピングできるところが欲しい。
- ・体を動かせるところ（アスレチック）が欲しい。
- ・もっと若者向けのお店を増やしてほしい。
- ・スケボーパークを造ってほしい。
- ・北中地区は田んぼが多いので、田んぼをなくしてお店を増やしてほしい。街灯をもっと増やしてほしい。
- ・近場で遊べる場所、ショッピングモールなどがほしい。
- ・室内アスレチック施設など、市外県外からも観光客が入るような施設を造ってほしい。
- ・足利市をもっと人が来るようにしてほしい。
- ・アスレチック等の室内で運動が楽しめる場所がほしい。
- ・近場にもっと遊べる場所（室内アスレチックなど）が欲しい。
- ・サッカーのスタジアムを造ってほしい。ポートルース場を造ってほしい。
- ・北郷地区にコンビニを増やしてほしい。

【その他まちづくりに関すること】

- ・栃木県民の日を休みにしてほしい。
- ・パン屋や服屋の売れ残った商品を捨てるのではなく、無料で配ったり破格で売ったりして資源を無駄にしないような制度がほしい。
- ・専門的な画材屋さんがないので、画材屋さんが欲しい。
- ・足高と同じくらいの普通科の公立高校をつくってほしい。

3 議員の所見

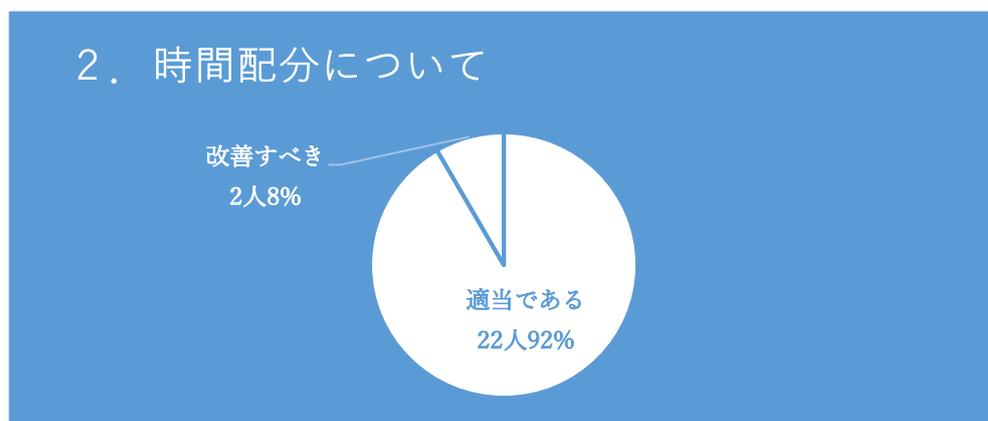
(1) 実施形式について (○：適当であるとする所見、●：改善を提案する所見)



- 質問がしやすいように感じた。
- 全体で集まった後の移動時間がないため、各クラスで開催出来てよかったと思う。
- 授業時間にあわせたことで、学校の負担が少なく済んだのではないか。
- 各学校とクラスの現状に合わせての実施は、校長先生は大変であると思われるが、授業として取り入れる上で効率的で適当であると考え。
- 学生も真剣に考えて、質問を考えていた様子で反応がとてもよかった。
- 基本的に不都合はないが、議員の組合せによっては進行が難しいところもあると聞いている。事前に議会側でポイントや注意事項などを確認する時間を設けるとよいと思う。
- 市議会の仕組みについて、動画を観て説明する方法は、このやり方でよいと考える。動画視聴後の質疑応答は、中学生の恥ずかしいという感じでなかなか質問が出ない場合もあった。議員側から質問を投げかけるなどして対応したが、質問が出ない場合の対応についても一定の準備をしておいた方がよいのではないかと感じた。
- 事前に「議会のしくみ」資料が配布され、予習等されていると思うが、共通モニターは急ぎ足過ぎて理解されるか疑問を感じた。それを見て質疑には違和感を感じた。
- 議員の組合せは検討してもよいのではないか。
- こちらの都合ではなく、学校の授業に合わせて実施すべきであるが、コロナ禍の中で実施する必要は、無いと思います。
- 生徒、先生たちの感想を聞きたいです。

- 議員の組み合わせ方に一考の余地あり。年代や所属政党や男女の別等はバランスが必要。
- 質問の内容を事前に準備していただくか、こちらから例を挙げる。質問できる雰囲気にしていただきたい。
- チームのクオリティの差が大きい。3人一組として2人が進行、1人がチェックの役割を持たせ、ローテーションさせるなどの工夫が必要ではないか。
- 2人一組を改善すべきと思う。前回の検証でも指摘したが、2人一組だと1人の議員が話過ぎてしまうことや、2人の議員の説明の仕方やクラスの雰囲気づくりに議員間の差が非常に出てしまう。
- コロナ対策として各教室で実施し、動画視聴はよかった。クイズ形式は生徒へのコミュニケーションに繋がったが、アイスブレイクも行うとよいと思う。議員は2人ではなく、進行役1人と、担当議員2人の3人態勢がよいと思う。
- 2人ではなく、3人がよいのではないかと思う。
- 2人一組での講師では講義内容に差が出過ぎてしまうので、得意不得意もあるので進行役、質問の受け答え役については選抜してチーム編成をした方がよいと思います。例えば広報広聴メンバーで対応とか。全員で対応は非常に無理があると感じました。課外授業の一環で子供たちが学ぶ場面でなくてはいけないと強く感じました。また、出前講師となる方のスキルアップをして行かないと逆効果になってしまうと感じました。また、上から目線で先生が生徒を見下すような言い方も場面場面で見られて残念でした。最初の市議会のみ動画の取組みはとても分かりやすくよかったと思います。最初の動画をかみ砕いて中学生に分かりやすく現職議員として説明することと、アイスブレイク初対面なので緊張をほぐす時間も必要と感じました。自己満足型の講義が一番よくなくて、何度か職員さんを前に練習講義して対応することも必要だと思います。

(2) 時間配分について (○：適当であるとする所見、●：改善を提案する所見)



- 概ね適当な時間配分であったと思う。
- 質疑応答中に間が生じない時間である。

- 長すぎず、短すぎずで適当だと思う。
- 質疑応答は動画に関わらず広い部分での質疑にしたので意見等が活発化した。
- 一人でも多い生徒の方に質疑に参加いただくためにも適当であると考えます。
- 与えられた時間を、それぞれの議員が工夫をして対応していたと思う。
- 動画視聴の10分が長く感じたので、短縮した動画の工夫が必要ではないか。
- 動画を5分程度に短くしてはよいのではと感じた。質疑応答は、生徒たちも、議員同士も慣れてきたころに時間が終了してしまったと感じたから。

(3) その他／全般について（○：適当であるとする所見、●：改善を提案する所見）

- 中学生の考え、意見等を聞く機会となり大変良いと思います。今後も続けていきたい。
- 中学生は中学生なりに疑問を感じることや、自身で思うふるさと足利の活性化に向けた提案等参考になった。このような仕掛けは、彼らにもいい刺激として、今後の人生に印象として残ればと思った。
- 議会に対する関心をもつていただくことを考えれば、今後も取り組むべきと考える。
- 成功と思います。
- 子供が育つ一過程の中で、大きな思い出となり、その後の成長に良い影響を与えることとなるような、ふれあいの場となることを切に望みます。
- 中学生の声を直接聞くことができよかったです。議会への関心を高め、政治に関わる人が増えてくれることを願います。出前授業の内容を、中学生に題材を決めてもらうことも必要ではないか。
- 質問を受けるだけでなく、時には質問をすることについては検討してほしいと思います。
- 動画の内容に改善が望まれるところがある。会派の説明のイラストの議員数が多すぎる。DVDの後の質問（クイズ）は要らないと思う。
- クラス毎に行くことは悪くないが、複数の議員が出向くのであれば、いくつかのテーマを設けて選択できるようにすることも検討してもよいかと考えた。
- 議会側の事前確認は必要だと思う。また、コロナ禍で難しいところもあるが、かつて愛宕台中学校のように、併せて議会傍聴に来てもらえると理解が一段と深くなる。全校に案内を出すことも検討の余地があるのではないか。
- アイスブレイクが必要なクラスには対応し、自由な発言ができる環境整備が必要。生徒や教師に必要な性があると思わせるようなプログラムの提供を検討すべき。
- 中学生自身が政治についての関心が薄いように思いました。時期として、進学準備に心を使っている感じを受けました。開催時期の検討を考えてほしいと思います。

- 出前授業は続けるべき。ただし、全議員対応ではなく、選抜メンバーで行ったり、また広報広聴や議運、各派幹事長会議など、メンバーをしっかりと決めて、打ち合わせを行い、各クラスの差が出ないような対応を望む。
- 質問が出ない時など、市政に対する提案的な質問を引き出すような進行をしてみてもよいかと思いました。
- 質問が出ずらかったので学校の負担は増えますが、事前に質問を3，4問出していただけでももう少しやりやすくなると思う。
- 担当した議員によって議員に対する認識が変わるため、授業の進め方には注意しなくてはと考えます。
- 事前準備が足りなかった。市議会議員が出前授業に何うということについて、生徒が何を期待するのか？どのような興味を持っているか等よく考えて臨むべきと反省した。

4 総括

今年度の中学生への出前授業を終え、事業の実施に当たりさまざまな課題が見えてきました。今後は、下記の事項に配慮するとともに広報広聴常任委員会として事業の検証及び改善を行い、より中学生にわかりやすく質の高い事業を実施してまいります。

(1) 実施形式について

- ・市議会のしくみの説明は、中学生にとってわかりやすく魅力的な内容になるよう考慮する。
- ・各クラスの担当議員については、親しみやすく質の高い授業を展開できるかどうかを配慮し、人数も含めて議席番号にとらわれずに配置するよう工夫する。

(2) 生徒からの意見や要望事項に対する対応について

- ・勇気を持って声を伝えた生徒の思いを真摯に受け止め、質問内容に関わらず子供たちにとって「伝えても、何も変わらないのではないか」という諦めや失望に繋がることのないように、市議会として丁寧な対応を心掛ける。

(3) 議員の心構えについて

- ・議員が一方的に話すのではなく、多くの生徒から質問や意見を聞き出せるよう心がける。